

News Release

「第77年度（令和8年度）事業計画」の決定について

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 村山 美彦）では、令和8年3月19日開催の臨時総代会において、「第77年度（令和8年度）事業計画」を決定しましたのでお知らせいたします。

令和8年度は、「組合員・利用者とともに歩み続けるJ A共済～協同の力で広げる安心の輪～」をスローガンに掲げた「令和7年度から9年度 J A共済3か年計画」の中間年度にあたることから、同計画の着実な実践に向け、令和7年度における取組状況や課題をふまえた5つの重点取組事項を設定し、施策を展開してまいります。（詳細は別紙をご覧ください。）

J A共済は、これからも「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員・利用者の皆さまに「安心」と「満足」をお届けできるよう、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供するとともに、健全な経営による事業活動を行ってまいります。

第77年度（令和8年度）事業計画について

令和8年度については、「令和7年度から9年度 JA共済3か年計画」の着実な実践に向け、同計画の基本的考え方・重点取組事項を踏まえつつ、特に注力すべき取組みを明確化し、以下の視点に基づいて具体的施策を展開します。

- ① 各種施策の取組状況を踏まえた強化・改善
- ② 内外の環境変化への的確に対応するための新たな施策の展開

具体的施策の展開にあたっては、以下のとおり重点取組事項を設定します。

令和8年度の重点取組事項	
【重点取組事項1】	<p style="text-align: center;">ニーズを捉えた推進活動の浸透・定着</p> <p>1. 対話型の推進活動の展開強化 (1) 推進活動にかかる計画策定と実践 (2) LAによる対話型の推進活動の徹底 (3) 窓口における推進力の強化</p> <p>2. 仕組改訂を契機とする満期対策等の強化 (1) 資産形成ニーズを踏まえた仕組改訂等の実施 (2) 満期対策を通じた保障切れ防止対策等の強化 (3) 共済を補完する共栄火災商品の活用</p> <p>3. 組合員・利用者本位の業務運営の徹底 (1) FD取組方針に基づく活動の実践 (2) 共済推進コンプライアンスにかかる対応強化</p>
【重点取組事項2】	<p style="text-align: center;">組合員・地域住民との接点づくりと共済事業としての関係性強化</p> <p>1. 情報発信と収集を軸とした一連の広報活動を通じたJAファンづくり・関係性強化 (1) JAと連合会の連携によるイベント・活動の活性化とJAファンづくり (2) 共済事業としての関係構築・強化</p> <p>2. 総合事業としての“寄り添う”活動の浸透・定着</p>
【重点取組事項3】	<p style="text-align: center;">事業推進体制の再構築の促進</p> <p>1. 各チャネルの機能発揮に向けた取組み</p> <p>2. 情報活用機能の強化</p>
【重点取組事項4】	<p style="text-align: center;">人・職場づくりの取組促進</p> <p>1. エンゲージメント向上に向けた重層的育成策の展開強化 (1) 職場活性化・チームづくりにかかる取組促進 (2) 推進活動の質と量の向上にかかる取組促進 (3) 上記取組みの定着にかかる取組促進</p> <p>2. 連合会における職員の人材育成と職場づくり</p>

		令和8年度の重点取組事項
【重点取組事項5】	連合会のさらなる機能発揮	1. 各JAの課題解決に向けたJA指導・サポート等の強化 2. 競争力強化に向けたAI活用の取組み 3. 南海トラフ等の災害発生を見据えた対応力強化 4. 審査・査定機能の最適化 5. 健全性の確保と収益性の改善に向けた取組み (1) 経済価値ベースの健全性規制導入等に向けた対応 (2) 長期安定的な収益確保に向けた資金運用 (3) システムの安定運用の取組強化 6. 持続可能な社会の実現に向けた取組み (1) 気候変動課題への対応 (2) 責任投資（ESG投資・スチュワードシップ活動）の推進

<参考>令和8年度契約高予定表

共済種類	新契約高	
生命万一保障	(保障共済金額)	2兆7,624億円
生存保障合計		6,335億円
医療	(治療共済金額)	321億円
がん	(がん治療月額共済金額)	160億円
介護	(介護共済金額)	3,116億円
生活障害	(生活障害共済金額) ※	1,866億円
特定重度	(特定重度疾病共済金額)	615億円
認知症	(認知症共済金額)	255億円
年金	(年金年額)	418億円
建物更生	(保障共済金額)	6兆9,637億円
短期共済合計	(元受共済掛金)	4,784億円
自動車	(元受共済掛金)	3,710億円

※生活障害年金原資（定期年金型）と生活障害共済金額（一時金型）の合計。